

(8) 中篠井自治会

自治会加入率

加入世帯数 37世帯 / 総世帯数 37世帯
加入率 100%

自治会の紹介

①活動内容について

中篠井自治会は、近年世帯数の減少により現在37世帯で構成され、会長や役員を中心に風祭り・班別バレーボール大会・秋祭り（敬老会同時開催）・新年会などを開催し、地区内の交流を図っております。

また、老人会（松寿会）・育成会により花いっぱい活動の実施により、安全で安心なまちづくりを目指しております。

【風祭り】

以前は9月1日の防災の日で開催されていたが、最近は毎年8月に開催され、一世帯一人出て神社の清掃後、神殿で秋の豊作を願うほか嵐が来ないよう願う行事でもあり、公民館において直会を開催、台風等の襲来時期でもあり、災害の話題にも発展し防災意識の高揚にも役立っている。

【班別バレーボール大会】

昭和51年から自治会員の相互親睦を図るとともに、健康増進を目的に開催され、毎年10月に実施し、今年度で32回目を迎える。参加者は毎年80人を越え、老いも若きも、優勝トロフィーと相手コートを目指して懸命な珍プレーの続出で笑顔と苦笑の連続です。昼には班毎にシートを広げ車座になって工夫を凝らした昼食会、上寿司の班もあればおにぎりやカップ麺の班も、秋の取り入れが済んだ充実した一日です。各班のコミュニケーションを図る場として絆を確かめ合うとともに、自治会運営にも大きな役割を持っている事業です。

自治会の紹介

①活動内容について

【秋祭り】

毎年11月に実施、前日（土）は全員で神社の清掃を実施後、宵祭りのスタートです。当番班により甘酒が用意され皆が笑顔になる瞬間です。

本番当日は、午前8時から神職を迎え豊年を祝い報告後、神輿を担ぎ巡行へ子どもの太鼓の音で祭りも一段と盛り上がります。直会においては敬老者を招待して敬老会を30年以上同時開催し、今年も敬老者28名を接待する予定になっている。平成3年に公民館新設の際には舞台をつけて建設し、そこでの余興は水戸黄門・白浪五人男や大正琴・どじょうすくい等工夫を凝らした隠し芸もさまざまで大変好評を博していた。

【新年会】

1年のスタートの日、自治会員の顔合わせと挨拶を交わす場として、1月1日に公民館で開催され近年は70%の参加率となっている。

自治会長の年頭のあいさつがあり、参加者が新年の希望と夢を語り合う場となっている。新年度の役員体制もこの頃から話題にあがってくるようになり、現役員の総仕上げの時期として総点検を、さらに名前が挙がる新体制の夢と不安が広がる語らいの場として、和やかな雰囲気で開催されます。

②高い加入率を維持する秘訣

過疎化と高齢化社会に伴い、近年自治会世帯数も減少したが、現在の37世帯で中篠井自治会を運営している。大先輩の指導により伝統を継承し、現世代の知恵を取り入れ調和しながら事業に取り組んでいます。

各団体の活動も体協・老人会・婦人会・若妻会・育成会と活発に活動している。特に老人会（松寿会）では、30名の会員で十数年前から花のあるまちづくりに取り組み、自治会内を縦断する県道約2kmにわたり、ひまわり・カンナを植え沿道的美観に努めるほか、除草や清掃活動を年5回程度実施して、自治会ばかりか、県道利用者へも美観と安らぎを提供している。そのことが、魅力ある自治会づくりや地域の防犯活動にも大いに貢献している。

また、育成会においては公民館前のつばめ子供会の花壇を年間管理し、老人会の花のあるまちづくりと連動して、花いっぱいの活動を展開、毎年優秀賞等入賞を果たして地域住民の心を和ませている。

さらに、体育協会では、篠井地区の各行事にすべて参加協力しているが、特に体育祭・班別バレーの開催時に将来の自治会作りをも意識して連絡員・班長を取込んで運営している。

自治会の紹介

②高い加入率を維持する秘訣

体育祭の午前6時に連絡員も含む役員10数名で18自治会中一番先にテント完成、入場行進に至っては、人員で圧倒的な差を付けて、20年以上優勝し体育祭を盛り上げている。

以上ほんの一部の紹介であります。中篠井自治会として一人ひとりの自治会会員が、生き活きと機会あるごとに積極的に参加していただき、自己を高め、自己の住む地域を高め、「笑顔のあいさつ」「こころの絆が通い合う」安全で安心なまちづくりを、今後も目指し自治会運営に尽力していきたいと思います。

